

1 このマニュアルが目指すものと その構成



このマニュアルが目指すもの

防災教育はこれまでも各教科、特別活動、道徳、総合的な学習の時間等において行われてきたが、児童生徒の発達段階や学習目標に応じた系統的・横断的な防災教育のより一層の充実を目指してこのマニュアルを作成した。

本マニュアルで示す内容は一般的なものであるため、マニュアルを参考にしながら、立地条件や予想される災害等の地域特性に照らした実践を各学校で推進してもらいたい。



このマニュアルの構成

◆ 『2 防災教育に取り組むにあたって』 P3～P13

- 防災教育に取り組むにあたり、学校防災の位置付け、防災教育の目標や留意点等について、「あいちの学校安全マニュアル」（愛知県教委 2011）や『『生きる力』を育む防災教育の展開』（文科省 2013）、新学習指導要領の策定に向けた中央教育審議会会議資料等からの引用を中心に示した。

◆ 『3 関連単元一覧表』 P14～P33

- 各教科・科目で災害や防災を直接取り扱っている単元だけでなく、防災・減災のねらいや内容・視点を追加的に取り込むことで防災学習教材として活用できる単元も示した。

小学校については平成 27 年度、中学校については平成 28 年度から愛知県（名古屋市を除く）の公立学校で使用している教科書について記載した。高等学校については、平成 29 年度使用教科書のうち、県内の県立高等学校で多く採択されている教科書を中心に記載した。

◆ 『3 指導例』 P34～P68

- 上記「関連単元」から、授業での具体的な指導例を示した。また、教科横断的な取組や発達段階に合わせた系統的な防災学習への取組を促すために、関連する他教科あるいは他学年で学ぶ単元も示した。

◆ 『4 総合的な学習の時間の展開例』 P69～P84

- 総合的な学習の時間を活用して防災教育に取り組む際の展開例を示した。

◆ 『5 実践的な避難訓練の実施に向けて』 P85～P100

- 避難訓練は、児童生徒が地震・津波等の自然災害や火災の発生に際し、適切に対処することができる資質や能力を養うことを目的とし、学校や地域の実情に即して、予想される様々な事態を想定して行われなければならない。ここでは、地震災害時における実践的な避難訓練の実施例を示した。